**イントラマート**

PaaS基盤として活用できる

PaaSとして各SaaSアプリを統一することで、利便性と低コスト化を実現できる

社内の業務システム、グループ企業内でシステムを統合したい場合、心強いパートナーになる

一元管理できるのとソーシャル機能も備わっていて、自社の作業効率向上に貢献している

PaaS機能を備えているのでクラウドとオンプレミスを業務内容に合わせ使いわける事ができる

(ハイブリットクラウド）

異なる業務系機能を「システム共通基盤」の上に統一することで、業務の効率化を可能にしているのが特徴

**RPA化**

「ロボットによるプロセスの自動化」を意味する「Robotic Process Automation」の略語

パソコンで行うバックオフィス業務やホワイトカラー業務を自動化できる業務効率化ツールのこと

RPAが得意とする業務は、繰り返しが多くて時間のかかる人間が面倒と感じるような業務

バックオフィスによくある定型業務や単純作業などが適しています

**できること**

**データの登録・転記**

データを決められたルールに従って他のアプリケーションに転記するなど、何度も同じ作業を繰り返し、入力するような単純作業が得意

**社内外システムの連携と操作**

RPAでは社内・社外のシステムに接続して決まった操作を自動で行うような業務も実現できます。

**インターネット上で情報を収集する**

データ自体をインターネット上から大量に収集することも、RPAでは実現可能です。例えば、自社製品の販売価格を各ECサイトで調査し、Excelにまとめるような業務や株価の調査、自社の口コミ情報の収集を定期的に実行している場合にRPAを活用できます

**ルールに基づいたチェック**

RPAは決められたルールに従って動くロボットです。そのため、ルールから外れてしまっているデータを検出することにも長けています。あらゆる企業において、顧客データ・発注データ・システムログ・経理処理データなど業務プロセスをすすめるなかでさまざまなデータが存在しています

**できないこと**

個別のルールが多い、非定型な作業

事前にルールや作業手順が設定されておらず、個別の判断が必要な業務や変更が多い業務や、ルールが多い業務などはRPAによる自動化に向いていません。